2024 年9月 20 日
TREホールディングス株式会社

サステナビリティ・リンク・ボンド発行後レポーティング（2023 年度）

当社は、2023 年9月6日に TRE ホールディングス株式会社　第 1 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティ・リンク・ボンド）を発行しました。本サステナビリティ・リンク・ボンドにおける、KPIs の実績値及び SPTs※1 の達成状況、並びに KPIs・SPTs に関連する、当社の最新のサステナビリティ戦略に関する情報を以下の通り報告いたします。

また当社は、独立した第三者機関であるソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社より、CO_2 排出量及び再資源化率のデータに対する第三者保証を取得しております。

※1　SPTs　：サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット

【サステナビリティ・リンク・ボンド発行時に設定された KPIs 及び SPTs】

＜KPIs＞

KPI-1：Scope1、2 における CO_2 排出量削減率

［定義］

連結子会社を含めた当社グループ全体を集計範囲とし、環境省「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver.2.4）」で算出した Scope1 と Scope2 を合計した CO_2 排出量をもとに、2013 年度からの削減率を算定するもの。

なお、持株会社への統合前の過去の数値は株式会社タケエイとリバーホールディングス株式会社を合算して算出しております。

KPI-2：再資源化率

［定義］

当社グループ全体で受け入れた有価物及び廃棄物から再生資源として活用できた量が占める割合を算定するもの。

再資源化率　＝　再生資源量÷（再生資源量　＋　発生廃棄物量）×100

（注 1）受入資源量：　当社グループで受け入れた有価物及び廃棄物の数量
　　再生資源量：　受入資源量のうち、再生資源として活用できた数量
　　発生廃棄物量：受入資源量のうち、再生資源化できず処分した数量

（注 2）再資源化率の算出にあたっては、実際の処理に基づく数値を適用しています。
　　（再資源化率の計算式における「再生資源量と発生廃棄物量との合計」は、受入資源量とは異なります。）

（注 3）本レポーティングで扱う数値の端数処理については、切り捨て処理を行っています。

＜SPTs＞

SPTs	
SPT-1	2026 年度における Scope1、Scope2 の CO_2 排出量を 35.18%削減（基準年度：2013 年度）
SPT-2	2026 年度における再資源化率を 92.72%

・ 参照期間：2026 年 4 月～2027 年 3 月

・ 判定日：2027 年 9 月末日

【KPIs の実績値及び SPTs の達成状況】

SPT-1：Scope1、Scope2 における CO_2 排出量削減率

・ 基準年度：2013 年度

・ 対象期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

2023 年度の SPT-1 進捗について、2013 年度比 9.48%削減しております。

	2013 年度（基準年度）		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
Scope1、Scope2 における CO_2 合計排出量（t-CO_2）	52,302		51,795	53,117	51,505	47,343
Scope1、Scope2 における CO_2 排出量削減率（%）	―		▲0.97	1.56	▲1.52	▲9.48

SPT-2：再資源化率

・ 対象期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

2023 年度の SPT-2 進捗について、再資源化率 91.82%となっております。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
受入資源量（千 t）	1,358	1,331	1,386	1,353
再生資源量（千 t）	1,244	1,225	1,265	1,239
発生廃棄物量（千 t）	96	101	110	110
再資源化率（%）	92.82	92.38	91.98	91.82

【KPIs・SPTs に関連する、当社の最新のサステナビリティ戦略に関する情報】

サステナビリティ戦略に関する情報につきましては「TRE ホールディングス 統合報告書 2024」の 33 ページ及び 65～66 ページをご参照ください。

ご参考：サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク
株式会社格付投資情報センターのセカンドオピニオン
ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による独立した第三者保証報告書
TRE ホールディングス 統合報告書 2024

以上